

文化庁メディア芸術祭愛知展 「MECÂNICA（メカニカ）－私と私の次なるもの－」 開催のご案内

人間存在さえも超えるかのような、機械の、機械による、機械のための芸術
—— 私たちの知っているメディア芸術はどこへ向かうのでしょうか。

メディア芸術は、いつも私たちにインスピレーションを与え、クリエイティビティへと導いてくれました。

アーティストが見いだしたアイデアを、エンジニアたちが全力で実装し、それを目にした作り手が、また新たな発想を得る——次なる地平へ到達するために、私たちは創造と想像とを繰り返します。一方で、まったく予想もしなかった未来が訪れようとしている可能性に、私たちは畏れつつもワクワクさせられるのです。

かつて夢みた未来を、私たちはいま生きています。メディア芸術とともにある人生は、時に厳しくもこの上なく面白く、楽しい日々です——私たちは、変わりゆくものと普遍的なものを見つめながら、いつの日か、メディア芸術そのもののゆくえを見届けるのかもしれない。

メディア芸術の盛んな愛知から本展が問いかけるテーマは『人工知能／人工生命的なるもの』を感じ、考えてみることです。歴代受賞作品を中心とした作品群から、機械や人工生命、人工現実感などによって成り立つ表現に注目し、その時代ごとに変わりゆく価値観を問い直す展示を行います。

プロジェクト「MECÂNICA（メカニカ）」は、名古屋市の中心部に位置する総合的なデザイン・創造の場「ナディアパーク」を舞台に、すぐれた作品表現やトークを通して、メディア芸術の新たな価値や可能性を発見し体験できる2週間になります。



文化庁メディア芸術祭

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において、優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。

平成9年度（1997年）の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。

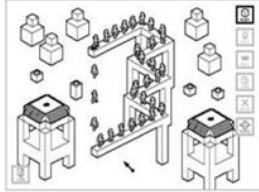
また、受賞作品を中心に、優れたメディア芸術作品を総合的に紹介する展覧会を国内外で開催しています。

展示作品 FLOOR GUIDE 2F アトリウム | FLOOR GUIDE 3F デザインホール ※このスペースは1月8日(月)までの展示となります。該当作品は公式サイトにて発表いたします。 | FLOOR GUIDE 4F デザインギャラリー

過去20回開催された文化庁メディア芸術祭の受賞作品・審査委員会推薦作品からセレクトした作品を展示



Alter
『Alter』制作チーム
© 2016 Alter developed by Ishiguro Lab. in Osaka Univ. and Ikegami Lab. in Univ.Tokyo



OLE Coordinate System
藤木 淳
©藤木 淳



デジタルシャーマン・プロジェクト
市原 えつこ
※展示はイメージです
© Etsuko Ichihara Photo : Masashi Kuroha



エンターテインメントロボット AIBO
『エンターテインメントロボットAIBO』開発チーム
©1999 Sony Corporation



IS Parade
林 智彦・千原 けん輔・小山 智彦
© KDDI株式会社



機械仕掛けの愛
葉田 良家
©葉田良家/小学館



最終兵器彼女
高橋 しん
©高橋しん/小学館



シンドリアの騎士
式根 勉
©式根勉/講談社



キルキル
今石 洋之/中島 かずき
©TRIGGER・中島かずき/キルキル製作委員会



PLUTO
©東川啓雄・手塚治虫 最終演出プロデュース
監督/手塚 眞 協力/手塚プロダクション (小学館)



翼の黄金指輪
© 2002 Hiroma Arakawa/SQUARE ENIX



攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX
©士郎正宗・Production I.G./講談社・攻殻機動隊製作委員会



メトロポリス
©手塚プロダクション/METROPOLIS製作委員会

講演・映像上映 FLOOR GUIDE 4F クリエイティブビジネススペース コード

※予定を含みます

トークセッションⅠ「MECÂNICA (メカニカ) の開催を迎えて」
2018年1月6日(土) 13:00~14:30

出演 市原えつこ (アーティスト/妄想インベンター)
森山 朋絵 (東京都現代美術館学芸員/メディアアートキュレーター) 他
モデレーター 江坂恵理子 (名古屋観光文化交流局文化歴史まちづくり部文化振興室 国際交流専門員)

トークセッションⅡ「ウェルビーイングを考える - 人工生命は私たちを幸せにするか」
2018年1月6日(土) 15:00~16:30

出演 ドミニク・チェン (早稲田大学 文学術院・表象メディア論系准教授)
渡邊 淳司 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所人間情報研究部主任研究員)
安藤英由樹 (大阪大学大学院情報科学研究科准教授)
市原えつこ (アーティスト/妄想インベンター)
モデレーター 森山 朋絵 (東京都現代美術館学芸員/メディアアートキュレーター)

トークセッションⅢ「メディアアート考古学 - はじまりの地・名古屋 -」
2018年1月7日(日) 14:00~15:30

出演 森脇 裕之 (多摩美術大学教授/種子島宇宙芸術祭総合ディレクター)
伊藤 尚未 (造形作家/メディアアーティスト) 他
モデレーター 杉森 順子 (愛知工科大学工学部情報メディア学科准教授)

トークセッションⅣ 第29回人工知能国際会議開催記念フォーラム
「人工知能が社会と芸術を変える」

2018年1月13日(土) 14:00~15:30
出演 伊藤 孝行 (名古屋工業大学情報工学科教授/JICA 招致委員会委員長)
高橋 信雄 (名古屋大学大学院芸術工学研究科教授) 他

トークセッションⅤ「ヒトを超える芸術 - 私と私の次なるもの -」
2018年1月14日(日) 14:00~15:30

出演 中ザウヒダキ (美術家)
石黒 浩 (ロボット工学者/大阪大学教授/ATR 石黒浩特別研究室室長)
池上 高志 (東京大学大学院情報学環教授)
モデレーター 森山 朋絵 (東京都現代美術館学芸員/メディアアートキュレーター)

国際デジタルアニメーションフェスティバル NAGOYA2018
2018年1月8日(月・祝)

10:30~12:00
・招待作品上映1
「ちえりとチェリー」(第20回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品) 54分
「フェアリーシカ 動物園へ行く」 18分
解説 栗津 順 (映画監督・CGアーティスト)

13:00~17:00

・招待作品上映2 国際部門 / トークセッション / 学生制作品の上映及び公開論評 など
出演 岩木勇一郎 (株式会社スピード 代表取締役・プロデューサー・監督) 他
※詳しいスケジュールは公式サイトにて発表いたします。

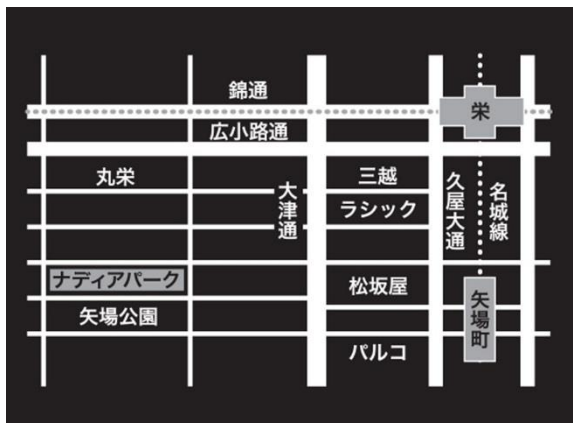
ヒトを超える、芸術。

開催概要

展示会名：文化庁メディア芸術祭愛知展「MECÂNICA (メカニカ) - 私と私の次なるもの -」
会 期：2018年1月4日（木）～ 17日（水）※デザインホールのみ 1月8日（月・祝）まで
10:00～17:00
入 料：無 料
会 場 場：ナディアパーク
デザインホール/デザインギャラリー/アトリウム/
クリエイティブビジネススペース コード

主 催：文化庁
共 催：名古屋市、(株)国際デザインセンター、中日新聞社
企画運営：文化庁メディア芸術祭愛知展運営委員会
協 力：ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会、
Digital Animation Tube!、(株)グローカライズ・コンテンツ、
(株)ProjectWhite (TSUKUMO)、LG Electronics Japan (株)

会 場



ナディアパーク/
愛知県名古屋市中区栄3-18-1

問い合わせ

文化庁メディア芸術祭愛知展「メカニカ」運営委員会事務局
中日新聞社社会事業部内（平日10:00～18:00）
tel : 052-221-0955
公式サイト：www.mediaarts-aichi.com

展示作品リスト (予定)

	作品名	作家	文化庁メディア芸術祭 受賞・審査委員会推薦作品選定歴	
展示	Alter	『Alter』制作チーム	2017年	アート部門
展示	OLE Coordinate System	藤木淳	2006年	アート部門
展示	Drone Survival Guide	Ruben PATER	2014年	アート部門
展示	(不)可能な子供、01：朝子とモリガの場合	長谷川愛	2015年	アート部門
展示	デジタルシャーマン・プロジェクト	市原えつこ	2017年	エンターテインメント部門
展示	ニンテンドッグス	nintendogs開発チーム	2005年	エンターテインメント部門
映像	IS Parade	林智彦/千房けん輔/小山智彦	2010年	エンターテインメント部門
展示・映像	メトロポリス	ひんたろう	2001年	アニメーション部門
展示	功殿機動隊	神山健治	2007年	アニメーション部門
展示	キルラキル	今石洋之/中島かずき	2014年	アニメーション部門
展示	最終兵器彼女	高橋しん	2001年	マンガ部門
展示	鋼の錬金術師	荒川弘	2004年	マンガ部門
展示	PLUTO	手塚治虫、浦沢直樹	2005年	マンガ部門
展示	シドニアの騎士	武瓶勉	2013年	マンガ部門
展示	機械仕掛けの愛	業田良家	2015年	マンガ部門
展示・映像	I.Q〜インテリジェント・キューブ	株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント	1997年	デジタルアート (インタラクティブ部門)
映像	クラスターワークス	祝田久	1998年	デジタルアート (インタラクティブ部門)
展示	エンターテインメントロボットAIBO (ERS-110)	『エンターテインメントロボットAIBO (ERS-110)』開発チーム	1999年	デジタルアート (インタラクティブ部門)
展示	シーマン〜禁断のベット〜	斎藤由多加	1999年	デジタルアート (インタラクティブ部門)
展示	ピクミン	宮本茂	2001年	デジタルアート (インタラクティブ部門)
映像	WIGGLE 「私(は)私が大好き」	ワイグル総司令本部	1997年	デジタルアート (ノンインタラクティブ部門)
展示	愉快的機械	岸啓介	1999年	デジタルアート (ノンインタラクティブ部門)
展示	cellroid	藤木淳	2017年	アート部門
展示	A day in their lives	藤木淳、渡邊淳司、安藤英由樹	2015年	歴代受賞者による作品
展示	P055E5510N	藤木淳	2011年	歴代受賞者による作品

上映作品リスト (予定)

	作品名	作家	文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品	
短編アニメーション	ちえりとチェリー	原作・監督：中村誠 脚本：島田満、中村誠	2017年	アニメーション部門
短編アニメーション	チェブラーシカ 動物園へ行く	監督・脚本：中村誠 原作・脚本：エドワード・ウスヘンスキー、脚本：ミハイル・アルダーシ	2016年	審査委員会推薦作品選定作家